



2021 年度 研究サマリー

研究会名称	千葉大学先端応用外科学記念教室記念事業	
代表者所属	千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学 教授 千葉大学第二外科・先端応用外科 同門会 副会長	
代表者氏名	松原 久裕	
<p>研究方法・結果</p> <p>2021 年度においては、計画に基づき下記の研究等を行った</p> <p>1) 千葉大学先端応用外科教室記念事業：2021 年度においては、計画に基づき下記の研究等を行った。</p> <p>2026 年には教室開講 100 周年を迎えるため、記念事業を予定している。教室における業績を振り返り、進歩の過程を検証することを目的とし、これを見据えて運営会議を 5 回開催し、準備を行った。優れた外科手術手技の伝承に寄与すべく過去の膨大な手術記録を整理し、今年度も貴重な映像のデジタル化を進めた。また、教室出身者は他の医療機関にて指導的立場で研究を続けた者も多く、学内のみならず広い範囲での資料収集を引き続き行った。</p> <p>2) 第 121 回日本外科学会学術集会の開催：教室記念事業の柱の一つである、2021 年 4 月に当教室主催の第 121 回日本外科学会学術集会を開催した。コロナウイルス感染症の蔓延のため、ハイブリッド開催となったが、千葉大学先端応用外科学教室の歴史、業績を整理し、収集した貴重な資料の数々を動画編集して本学術集会ホームページにおいて公開した。</p> <p>3) 食道癌、胃癌、大腸癌および腎臓移植における治療成績向上のための基礎及び臨床研究、手術法の開発：消化器癌の発癌、転移、浸潤などのメカニズムを解明し、さらに治療に応用すべく基礎的研究を継続している。また、それぞれの疾患分野にて診断治療の最先端となる臨床研究も進めており、学会発表、論文発表を行った。ロボット手術などの新規手術症例数も着実に増加している。腎臓移植においては、着実に臨床数を増やしており多くの患者様に恩恵をもたらしている。</p> <p>4) 献体を用いた先端的手術手技研修会の開催：外科学全般における先端的な手術手技啓蒙のために、第 121 回日本外科学会定期学術集会の会期最終セッションとして 2021 年 9 月に献体（ご遺体）を用いたライブ中継による手術手技研修会を実施した。前年度はライブ中継の下準備として手術リハーサルを行い、当日のバックアップのための手術手技ビデオ制作を行ったが、これらのビデオを第 122 回日本外科学会学術集会（熊本で開催予定）にて放映する予定である。</p> <p>5) 腎臓移植に関わる教育啓蒙活動：新型コロナウイルス感染症の影響で教育啓蒙活動が十分にできない状況が続いているが、医学系専門学校等にて出張講義を行った。</p>		
<p>研究成果（論文、学会発表、雑誌掲載等）</p> <p>なし</p>		